

## 令和8年度セグロウリミバエ増殖等に係る業務委託仕様書（案）

### 1. 目的

令和8年度セグロウリミバエ増殖等に係る委託業務の内容は次のとおり定める。

### 2. 委託業務

- (1) セグロウリミバエの増殖と虫質調査に係る作業
- (2) セグロウリミバエ増殖作業に要する機械・器具等の保守管理に係る作業
- (3) 各種飼育記録データの収集と入力作業
- (4) 試験研究の補助

※各詳細については別紙を参照のこと。

### 3. 委託業務実施場所

沖縄県農業研究センター（沖縄県糸満市字真壁 820 番地）国外害虫隔離飼育棟、特殊害虫隔離飼育棟

### 4. 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日

### 5. 業務体制

#### (1) 責任者

責任者は四年制大学卒業以上の学歴を有する者、またはこれと同等の学歴もしくは業務経験を有する者とし、業務遂行に責任を負えると認められる者とする。

#### (2) 安全衛生管理

ア 受託者は委託業務に従事する者に対し、防災訓練や安全衛生等の研修を行い、その安全衛生を管理すること。

イ 作業中は事故が起こらないよう十分に注意すること。

ウ 成虫餌の作成、幼虫培地の作成、蛹の篩い分けの際には、必ず防塵用としてマスクを着用する。

エ 作業内容や作業場所が危険である、あるいは安全が確保されていないと受託者が判断した場合、速やかに委託者へ報告しなければならない。また、作業や作業場所での安全が確保されるまで、受託者は作業を回避することができる。

オ 受託者は使用する施設の管理・整頓・清掃に努めること。

### 6. 提出書類等（成果品）

提出書類等は以下のとおりとする。

#### (1) 作業記録票

提出期限は従事した月の翌月10日までとする。ただし令和9年3月分は委託期間終了時とする。

ア セグロウリミバエ作業日報

イ セグロウリミバエ作業月報

#### (2) 調査記録票

提出期限は委託期間終了日までとする。ただし、委託者の要請があった場合は開示すること。

ア 卵接種記録票

- イ 卵孵化率・接種卵孵化率記録票
- ウ 幼虫培地・幼虫室温度記録表
- エ 培地残存虫率記録票
- オ 蛹記録票
- カ 羽化率・飛出虫率記録票
- キ 成虫生存率記録票

(3) 受託業務完了報告書

提出期限は委託期間終了日までとする。ただし、委託者の要請があった場合は開示すること。

- 1) 生産記録票
- 2) 関連電子ファイル

7. 経費負担区分

(1) 委託者負担

大量増殖作業資材・飼料・餌・培地、用水、電気、作業着類、試験器具、記録用紙、安全衛生用品、飼育棟付帯器具、清掃器具、パソコン、プリンター、その他事業用消耗品等

(2) 受託者負担

作業に係る人件費等

8. その他

- (1) 委託業務の書類の作成や提出に係る費用は受託者の負担とする。
- (2) 委託業務の遂行にあたり変更や改善がある場合は委託者に申し入れることができる。
- (3) 本仕様書に定めのない事項又は疑義を生じた場合は、委託者の指示に基づくものとする。

## 別紙

セグロウリミバエ増殖等に係る業務委託における内容については、以下を基本とする。

### (1) セグロウリミバエの増殖と虫質調査に係る作業

委託期間における蛹生産量は週平均 10 万頭以上とする。また、蛹生産量の下限を週 2 万頭とするが、やむを得ない理由（停電、設備の故障等）があると委託者が判断した場合はその限りではない。

#### (ア) 採卵用成虫飼育管理作業

##### (a) 飼育管理

1 箱あたり 9,000 頭の蛹を入れた成虫飼育箱を毎週必要数準備し、成虫を 6 週間飼育する。成虫の餌は表 1.に基づき作成し、飼育箱を用意する際に 1 箱あたり 1,200g を設置する。成虫への給水は飼育箱上部に敷いたキムタオル上に水を染み込ませたスポンジを 2 個載せて給水させる。給水は週に 3 回行い、スポンジは週に 1 回取り換え、洗浄する。飼育を終えた飼育箱は洗浄する。

組 成	配合量
乾燥酵母	1.95kg
粗糖	6kg
水	420ml

表 1.成虫餌の組成割合

##### (b) 採卵

羽化後 3～6 週目の成虫から毎週 1 回採卵する。産卵の誘発には表 2.に基づき組成した採卵用ジュースを用い、これを採卵器に適量入れる。採卵器は成虫飼育箱 1 箱あたり 9 穴空いているので必要数貫入し、翌朝まで放置する。翌日、採卵器を抜き取り、水で洗い流して卵を集める。収集した卵は計量し記録する。作業後、採卵に用いた採卵器及びナイロンゴースを洗浄する。

組 成	配合量
カボチャ	1kg
3.5%塩酸	20cc
安息香酸ナトリウム	0.94g
水	750cc

表 2.採卵用ジュースの組成割合

#### (イ) 幼虫飼育管理作業

##### (a) 幼虫培地の計量・混合・pH 測定

バケツ 1 個につき表 3.に基づいて幼虫培地を計量・混合し、専用ミキサーで 20 分以上攪拌したのち pH を測定して記録する。

組 成	配合量
水	3.8L
3.5%塩酸	109ml
安息香酸 Na	2.7g
チリ紙	128g
乾燥酵母	163g
大豆フレーク	163g
粗糖	325g
フスマ	750g

表 3.幼虫培地の組成割合

(b)卵接種及び幼虫飼育

幼虫飼育容器に 1.5kg の幼虫培地を入れ、表面を平らにならす。その上にメスシリンダーで計量した卵 1.7ml を、ピペットを用いて接種する。蛹化容器にバーミキュライトを 1cm 厚になるように入れ、この上に幼虫飼育容器を置いた後、蛹化容器の蓋をして 25℃に設定した幼虫室で保管する。幼虫培地及び幼虫室の温度は定期的に測定し、記録する。

(c)幼虫培地処分

蛹回収を行った後の幼虫培地は、飼育棟内の超低温室で培地廃棄用ポリ袋に入れ、-20℃に設定し 2 週間冷凍処理し、完全に冷凍したのち棟外に持ち出し廃棄する。

(ウ) 蛹飼育管理作業

(a)蛹の篩い分け

卵接種後 11 日目に蛹化容器毎に蛹篩い分け作業を行う。

(b)蛹計数計測

蛹化容器毎に蛹総数と蛹総重量を測定し、総蛹数と歩留まりを計算、記録する。

(c)親虫用蛹の確保

上記(ア)-(a)のために、各蛹化容器から得た蛹を成虫飼育箱あたり 9,000 頭収容する。

(d)蛹処分

超低温室で-20℃に設定し、2 週間冷凍処理後に処分する。

(2) セグロウリミバエ増殖作業に要する機械・器具等の保守管理に係る作業

飼育器具や作業機械の管理、点検等を行う。設備に異常が認められる場合は、委託者に報告する。

(3) 各種飼育記録データの収集と入力作業

各作業において記録した数値を指定の PC ファイルに入力し、集計する。(仕様書 6-(2)参照)

(4) 試験研究の補助

沖縄県農業研究センター内で、セグロウリミバエの調査研究作業の補助をする。